

研究テーマは想定外の災害に対応する 訓練システムを開発・運用

研究によって作成した訓練を実施し、事故や災害に対する適切な判断や行動ができる防災コンピテンシーの養成に取り組んでいます。最新の訓練システムはVRを用いて、訓練者の状況を見ながら常に想定外のシナリオを提示し、災害時の判断や行動をシミュレーションしてもらいます。危機的な状況では、現状や被害を小さく受け取ってしまったり、自分は安全だと考えてしまったりすることで、生き延びる行動

に移せないことがあります。そうした状況を体験してもらうことによって、自分の考え方や行動を理解し、今後の防災に役立ててもらいます。訓練を実施することはもちろん、システムそのもののアップデートも行っており、今後はシステムのAI制御を検討しています。また、現状のシステムを核とし、より簡易的な教育システムをつかって地域防災などの入り口となるような段階的なシステム設計も考えています。

創造は、人との交流が
生み出す無限の可能性から始まる

創造工学部副学部長
防災・危機管理コース 教授

井面仁志

ネクストプログラム※ 「防災士養成プログラム」

講義を受け試験に合格し、実際にボランティアとして実習を終えると防災士（NPO法人日本防災機構）の資格を取ることができます。防災・危機管理コースの学生は授業自体が必須ですが、他学部の学生も受講することができます。そこで防災士の資格を得た学生が、防災士クラブを組織し、実習とは別に防災のボランティア活動をしています。地域の防災訓練への参加や協力と、被災地へのボランティア派遣を行っています。熊本地震や西日本豪雨、能登半島地震など、被災直後のがれき撤去や家財運びだし、炊き出しといったボランティアだけでなく、その後の農業支援やイベント支援など継続的な支援にも力を入れています。香川県の防災訓練や、赤十字病院の防災展示などのサポートや参加も続けています。

※学部の枠を超えて、主体的に学習する自由参加型の特別教育プログラム



西田有宇さん

（大学院創発科学研究科博士前期課程2年生）

研究テーマ：レジリエンスによる避難行動分析、
避難信頼性向上のためのVR避難訓練システムの開発

防災士の授業やボランティア活動で井面先生に教わりました。何気ない会話をしているときに、指摘の仕方が他の先生と違って、先生の研究室で学んでみたいと思いました。先生の指摘は、学生への質問形式が多く、課題の見つけ方から、考察、行動と自主性が鍛えられます。学生の自主性による自己成長を大事にする研究室です。研究室の隣に先生がいますので、分からないことがあればすぐに聞けるのが助かります。

続きはwebで

